

事業所カルテの活用

事業所カルテは、健診結果やレセプト情報を集計し見える化しているため、自社の健康課題を確認できます。確認できた健康課題から、自社の目標値を設定することで、具体的な実践へと繋がり、振り返りや評価を行いやすくなります。事業所カルテの発行をご希望の場合は、東京支部までご連絡ください※。

※従業員数などによって事業所カルテが発行できない場合もございます。その際には、所属する業態平均を算出した業態別カルテをご提供いたします。

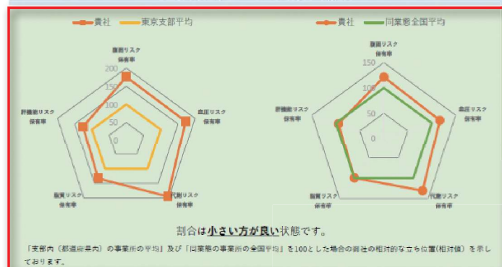
事業所カルテにてご確認いただける項目	
1人当たり医療費	メタボリックシンドローム該当状況
特定保健指導該当状況	健康診断実施状況
特定保健指導実施状況	生活習慣病リスク保有者の割合
生活習慣要改善者の割合	

事業所カルテの一例

3. 生活習慣病リスク保有者の割合及び生活習慣要改善者の割合

健診項目である5項目（腹囲、血圧、代謝、脂質、肝機能）、問診項目である5項目（運動、食事、喫煙、飲酒、睡眠）に関する状況を示しています。貴社の現状（特徴）の把握や、健康づくりのきっかけとしてご活用ください。
また、協会けんぽでは、事業所の健康づくりを支援する健康宣言に取り組んでいます。健康宣言については、11ページをご覧ください。

生活習慣病リスク保有者の割合



年度	腹囲リスク保有率		
	貴社	東京支部平均	同業態全国平均
2022	53.9%	34.8%	50.0%
2023	52.0%	34.4%	50.0%
2024	61.5%	35.1%	50.6%

年度	血圧リスク保有率		
	貴社	東京支部平均	同業態全国平均
2022	73.1%	39.5%	57.8%
2023	76.0%	39.7%	58.6%
2024	69.2%	40.2%	59.1%

生活習慣病リスク保有者の割合を、協会けんぽ東京支部加入企業全体の平均および貴社が所属する業態の全国平均と比較しながら確認できます。

直近三年度分の生活習慣病リスク保有率をリスクごとに平均と比較しながら確認できます。

左表をグラフにしたもので経年での変化、平均との差を視覚的に確認できます。

PICKUP▶▶▶ 考えていますか？ 受動喫煙対策

事業所カルテで自社の状況を把握した上で、次に注目したい健康課題のひとつが「受動喫煙」です。

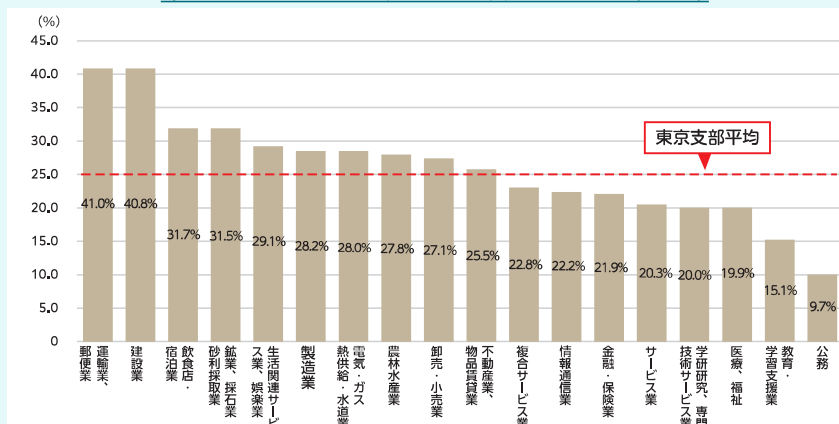
受動喫煙は、喫煙者本人だけでなく、周囲の従業員の健康にも影響する健康課題です。

東京支部では、たばこに関する対策を重点的に推進しています。

特に、受動喫煙は周囲の人の健康に影響を及ぼすことから、事業所と連携しながら、受動喫煙を防止する職場環境づくりや禁煙に関する普及啓発に取り組んでいます。

東京支部における業態別の喫煙リスク（参考）

令和6年度データ



※本データは業態別の傾向を示したものであり、個別の事業所の状況とは異なる場合があります。

事業所カルテでは、同業態との比較により自社の位置づけが確認できます。

さらに東京支部全体の業態別データを合わせてみることで、業態ごとのばらつきや、支部全体の傾向を把握することができるため、受動喫煙対策の優先順位が整理しやすくなります。

受動喫煙対策は、従業員全体に関わる「職場環境の健康課題」です。まずは現状を把握し、自社に合った形で対策を検討することが重要です。

東京都医師会ご協力のもと制作したポスターおよびリーフレット（協会けんぽ東京支部で配布中）